

北辰 13期生
106回 15 5 02
「歩こう会」

フォト・プレス

茨木市中村町
1-26-101
畝狭 恒雄

圧巻 紺碧の空に 一千匹の鯉のぼり 高槻芥川

今月の「歩こう会」のテーマは童心に返って「高槻芥川鯉のぼりフェスタ」の観賞。

JR高槻駅を11時05分に6人で出発。芥川商店街を西へ。突き当たりを左折し旧西国街道を5分ほど歩くと芥川桜堤。橋上より目に飛び込んで来たのは5月の薫風を腹一杯はらんで泳ぐ一千匹の鯉のぼり



桜堤から見た一千匹の鯉のぼり



川べりの堰堤でお弁当

ゴールデンウィークの真ただ中で子供達の嬌声が当たりいっぱい響かせてはしやぎまわり、中には川に入って水遊びをする子もい

ました。子供達と鯉のぼり まさに平和の姿 大切に守りたいですね。桜の木の下でお弁当を開きました。好天で喉も渴きましたので途中で買った缶



蒼い空に赤い鯉のぼり

佐藤さんと畝狭が続きました。

♪ 岡田さんがふと、くちずさんでくれました。
いらかの波と雲の波
重なる波のなか空を
橋かおる朝風に
高く泳ぐや鯉のぼり



鯉のぼり達に祝福されて

ビールを新本さんと飲みました。前田さん、佐藤さんにも勧めましたが断られました。

また、佐藤さんはクミコさんが歌ってる「広い河の岸辺」を紹介してくれました。

♪ 河は広く 渡れない
飛んでゆく 翼もない
もしも 小舟が ある
ならば 漕ぎだそう
ふたりで



さよなら鯉のぼり 桜の季節に再見

童心に返った一日はあつと云う間に過ぎ帰路は市バスでJR高槻駅までかえし駅前の喫茶店でコーヒーを飲んで暫しおしゃべりして帰りました。

北辰 13期生
107回 2015 6 11
「歩こう会」

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

北辰歩こう会

大阪の 昭和を訪ねて

107回歩こう会は6月11日午前10時JR天王寺北口改札前から始まりました。今回の幹事は岡田さん総勢8人、住友家本邸跡の慶沢園に向かう。



あずまや 四阿前で
慶沢園

おおらかで勇壮なつくりの庭園を小雨模様のなかをゆつくり散策する。四阿の前のベンチで写真を撮る。池を一周して広場に出ると巨大なあべのハルカスが目に飛び込んできました。



あべのハルカスをバックに

向井さん 脳手術から 無事生還

向井さんからかねてよりお聞きしてましたが和歌山労災病院で脳手術を受け無事退院し今日の参加となり誠に旧友として喜ばしいニュースとなりました。



ルージュで前田さん浅田さんと談笑

向井さん本当におめでとう。お昼近くになったので美術館横のレストランルージュで昼食。向井さん、前田さん浅田さんと楽しそうに談笑。刺った前頭部に抜糸の跡が痛々しいでした。



茶臼山西軍本陣あと石碑で

慶沢園をあとに天下分け目の決戦場茶臼山へ行きました。豊臣方の武将真田幸村はここに本陣を張り徳川軍と対峙し大阪夏の陣の戦いが始まり後に幸村は戦死し徳川の天下となりました。石碑の前で記念写真を撮りすぐ横の石段を登ると標高26メートルの山頂です。



標高26mの茶臼山山頂

茶臼山を下山して難波の庶民のお寺、一心寺にお参りをしました。「お骨仏」で有名で本堂左手の納骨堂ではお線香を供える人が絶えません。私達も先祖供養に手を合わせました。



お参りすませた善男善女

北辰 13期生
111回 2015 11 06
「歩こう会」

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

北辰歩こう会

小春日和の
まほろばを散策

一一一回の「歩こう会」は近鉄南大阪線の小さな田舎の駅から始まりました。



今回の幹事は坂野さん。駅の名は二上神社口駅。だらだらと坂を登ると紺

碧の空に二上山が見えました。道標どおり左折し



二上山ふるさと公園ふたかみパークへ女子組み3人も

身体一杯陽光を浴び無駄口を交わしながらマイペースの散

策。灌漑用の溜池を二、三交わしてふたかみパーク到着。

とんがり時計台と
大きな柿の木

♪緑の丘の赤い屋根
童謡の歌詞どおりの時計台のあるおもちゃ館。蒼い空と緑の芝生。おもわず寝ころぶ。そろそろお昼時、近くのベン



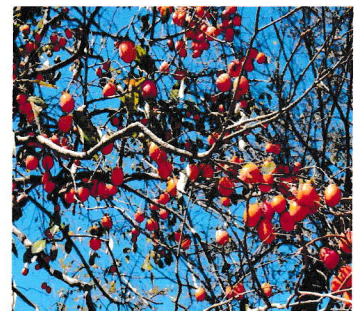
チでお弁当を開きました。目の前の見事な柿の木の下で写真を撮りました。

た。文字どおりの鈴生りの柿



●13期歩こう会(111回)例会 2015年11月5日
●二上山麓散策

の実に里の秋の豊かさを感じました。



たわわに実る柿の実

石光寺から当麻寺へ

道の駅ふたかみパークでおみやげを買ったりして道祖神ならぬ石仏上の道標に従って花の寺、石光寺へ。もともと12月上旬から1月にかけて寒牡丹で有名ですが8月上旬のサルスベリの花、百日紅、そして1月上旬の蠟梅も知られて



ています。今は花の季節も過ぎ去り訪れる人もない山門を後にして当麻寺

に向かいました。幼稚園の運動場や小学校の校門を見て70年前の子どもの頃



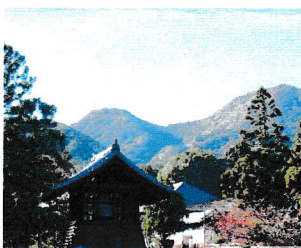
サルスベリの古木の前で

の郷愁に浸りながら当麻寺の山門に到着。



本堂前で記念写真を撮りました。境内は広く、日本最古の鐘楼の背後に二上山がお別れとばかり顔をのぞかせてくれました。

門前町を当麻寺駅まで下り、駅前の中将堂本舗で当麻名物中将餅を頂きました。香り高



いよもぎ餡と渋い日本茶の組み合わせで疲れも吹っ飛びました。